

認定看護師会からのお便り

2023年11月号

認定看護師の活用の方法と連携の実際を紹介します



西5病棟所属の認知症看護認定看護師
小林理恵子 さん

1. このようなときに連絡・相談をしてください（PHS：）

認知症ケアチームラウンドにご協力いただきありがとうございます。

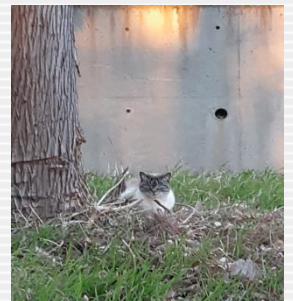
- ・入院中の患者さんが、混乱し落ち着かないときや反対に不安になっているとき、ご家族が介護に疲れているとき
- ・外来通院中の患者さんやご家族が、認知機能低下で生活に支障をきし、お困りのとき
- ・自分の家族や親戚が認知症で困っているとき

できるかぎり早期にご相談に応じたいと思っています。遠慮なくご連絡ください。

2. 小林さんと連携して（脳神経外科外来）

外来診療中にご家族から患者さんの認知症状が進んできて対応に困っている、認知症の介護で疲れてしまっているなどの相談があったとき、小林さんに連絡し面談していただいています。面談後は「話を聞いてもらって気持ちが楽になった。」「今日は小林さんいますか？また相談したい。」

とリピーターのご家族もいます。



院内研修のお知らせ

11月14日(火) 認知症ケア研修ベーシック

11月17日(金) 意思決定支援研修ベーシック

11月21日(火) がん化学療法



地域医療連携課所属のがん性疼痛看護認定看護師

片塩 幸さんです。

1. このようなときに連絡・相談をしてください（PHS5388）

- 痛みのとらえ方を知りたい
- 痛みのアセスメントの方法を知りたい
- 非薬物療法としての痛みの緩和方法を知りたい
（体位の工夫、マッサージ、タッチング、コミュニケーション、
リラクゼーション、ケアリングなど）
- 痛みのある患者さんの看護カンファレンスへの助言

2. 片塩さんと連携して（訪問看護ステーションなかの）

- 在宅療養をしているがんの患者さんの痛みのとらえ方、頓用薬の使い方など相談をしています。
また、皮膚処置をする際の痛みの軽減や体位保持の工夫など、集まれる人でカンファレンスをしました。

